

MD&A(経営者による財政状態および経営成績の分析)

株式会社電通および連結子会社
2017年3月30日現在

文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日現在において、電通グループが判断したものであります。

当連結会計年度の経営成績の分析

収益および売上総利益

当連結会計年度における当社グループの収益は8,383億円、売上総利益は7,890億円となりました。売上総利益のうち、国内事業は、電通単体における売上総利益率の向上や国内グループ会社の貢献により3,632億円(前年同一期間比4.3%増)となりました。

海外事業の売上総利益は4,260億円(同2.9%増)となりました。また、海外事業の売上総利益のオーガニック成長率は、同5.7%増となりました。地域別では、EMEAが同6.9%増、Americasが同3.1%増、APACが同7.9%増と、すべての地域でプラス成長を達成しました。

販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用および営業利益

当連結会計年度における当社グループの販売費及び一般管理費は、6,598億円となりました。また、その他の収益は165億円、その他の費用は80億円となりました。これらの結果、当連結会計年度における営業利益は1,376億円となりました。

持分法投資利益、金融損益および当期利益

当連結会計年度の持分法投資利益は33億円、金融収益から金融費用を減じた金融損失は81億円となり、この結果、税引前利益は1,329億円となりました。

税引前利益から法人所得税費用を控除した当期利益のうち、親会社の所有者に帰属する当期利益は835億円となりました。

資本の財源及び資金の流動性についての分析

資産、負債および資本

当連結会計年度末は、前連結会計年度末と比べ、企業結合等の影響により、資産合計で891億55百万円、負債合計で2,099億37百万円増加し、資本合計で1,207億82百万円減少しました。

キャッシュ・フロー

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,424億10百万円(前連結会計年度末2,633億22百万円)となりました。投資活動による支出が、営業活動および財務活動による収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べ209億11百万円の減少となりました。

•営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果により得た資金は、1,435億85百万円(前連結会計年度695億54百万円の収入)となりました。主に税引前利益の計上によるものです。

•投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1,561億61百万円(前連結会計年度612億3百万円の支出)となりました。主に子会社の取得による支出によるものです。

•財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果により得た資金は、25億39百万円(前連結会計年度956億66百万円の支出)となりました。主に短期借入金の純増加によるものです。